

木もれ日通信

Komorebi Tsushin

創刊号

平成12年6月
つきだて花工房発
季刊誌

〒960-0903 福島県伊達郡月舘町大字下手波字寺窪7
TEL024(573)3888 FAX024(573)3887
E-mail: hanakobo@safins.ne.jp
休館日/毎月第1、第3火曜日(休館日の前日は17時まで営業)

◎つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりと
やさしさを持ち続ける皆様の公共施設をめざします。

花のアルバム

アルバムの
1ページ

えんどう
の花

お花屋さんのショーウィンドーには
登場しない花があります。
都会の生活では出会えない花が、
田舎の庭先に、道端の片隅に、
そして野菜畑に可憐な花を咲かせます。
そんな花たちの写真を綴る
「花のアルバム」。
第一回は「えんどう」です。

糠田・斎藤兵二さんの畑のえんどう(新種ひめどり)

爽やかな緑色のえんどうが、初夏
の到来を告げます。昨年の秋に種を
蒔き、寒い冬を越したえんどうは、4
月に誘引のための支柱を立てると、
青空に向かって巻きひげがぐんぐん
と這い上がり、1メートル以上にもな
ります。そして、収穫の前に蝶のよ
うな愛らしい紫色の花を咲かせるの
です。



えんどうはマメ科の二年草。花は、
5枚の花びらと、一本のめしべ、十本の
おしべからなっています。まるでスイ
ートピーのような花を咲かせる、え
んどうの畑は生き生きとしており、
その眺めはとても美しいものです。

先日、農家の方から買い物袋いっぱ
いのえんどうが届きました。早速ス
ジをぬき、ひとつまみの塩でさつとゆ
でたえんどうをいただきました。田
舎暮らしの特権です。素材そのもの
の甘味と、シャキッとした旬の食感。
新鮮な野菜から元気をいっぱい頂き
ました。

●えんどうの豆知識

えんどうには、完熟した子実を食
べる「エンドウ」、未熟な子実を食べる「グ
リンピース」、若さを食べる「さや
えんどう」(このあたりでは「サンド
マメ」とよばれている)などがあります。
えんどうは、ビタミンA(カロチン)、
B1、B2、Cを多く含む、栄養的に
は大変すぐれた野菜です。さらに、
整腸作用や大腸がん防止に効果の
ある食物繊維の多さは群を抜いてい
ます。

「みどりの豆」を、おいしく食べて
健康増進!

●収穫を楽しむ

花工房のキッチンガーデンに植え
たスナックエンドウも、今が収穫の時
です。形がちょうど貧弱ですが、自分
たちが育てた安全な食材を味わう
ことは、何よりも嬉しいものです。

収穫といえは、3月に種を蒔いた
ミニかぼちゃ「ブッチーニ」も順調に育
つています。7月にはかわいい黄色の
かぼちゃが誕生するはず。またひとつ、
楽しみで胸が弾みます。

誘引つるをテープなどで支柱に固定し、
巻きつきやすくする作業。



ブッチーニの誘引作業(中居さん)

心をこめて二期一会のおもてなし

月出づる、花薫る郷。

平成8年8月8日、ハッピーハッピーでオープン。

以来、駆け抜けて早4年。

これからも、皆さんに親しんでいただける施設でありたいと願います。

花で迎え、花で送る心。

玄関先から見える栗丸太のアーチをくぐって、さあ、自然散策のスタート！。まずは、四季折々のお花たちがお迎えです。キッチンガーデンに続くこの道を「花小道」と名付けました。花小道に沿った斜面には、春から初夏にかけて、シヤスターデージーやオオキンケイギクなどの花が咲き誇ります。中腹の枕木のデッキでひと休み。木洩れ日の美しさで時間が止まってしまいそう。太陽と木々の織り成す情景は心地よく、とても穏やかな気持ちになります。もうしばらく下つていくと、そこがキッチンガーデン。ハーブや野菜が元気に育っています。が、時に作業を怠けると植物や野菜は正直に反

お花畑で
ほほ笑んで。



オープン当初からのお客さま、川俣町菅野様たち

応。「子育てと同じ！」とよく言われます。今後、実のなる樹の植栽も計画中で、楽しみが広がるエリアです。キッチンガーデンを後にして、花小道に並行した斜面を登っていくと、しずかな里山の雰囲気。石で切った炉に腰をかけて、仲間と語り合うのはおつなもの。ここから、花工房の裏手に作られた遊歩道につながります。

ちよつとひと息

遊歩道はゆつくり歩くと30分程度。7月から8月にかけては、町の花「やまゆり」が遊歩道を演出してくれます。途中に用意された東





Hana Club

こもれびインタビュー 4700本の笑顔

今年4月に発足した「つきだて夢楽校」の皆さんが、子供たちに声をかけ、つきだて花工房下の空き地に、月館町の人口とほぼ同じ数のひまわりを植栽してくれました。早速、事務局の方にお話を伺いました。

Q 今回の活動のきっかけは？
A 会員の佐藤勝廣さんが、ひまわりを提供してくれました。

楽しい夏休みに、自分たちの植えたひまわりが咲けば、きつとうれしいはず。子供たちが自然と触れ合う機会を少しでも多く持ち、体験の中から、忘れかけている「心」を育ててほしいと思うのです。

Q 「つきだて夢楽校」の紹介を！
A 月館の自然を生かしながら、自分たちの力で、自分たちの住



親子ではぐくむ心（本田さん親子）

む月館に夢を育てようという仲間が集まりです。現在の会員は約10名。五十歳代がほとんどです。（上、少々苦笑い）

Q 4月には、森林公園に桜の木を植えていただいたとか？
A ええ、約160本植えましたよ。みんな、里山をきれいにしたいという夢があります。そこで、「まずは今ある場所をもっときれいにしよう」と思いついたのです。途中、畑仕事をしていたM氏に偶然声を掛けたら、一緒に植えてくれましたよ。

Q つきだて花工房の今年の夏は、一面のひまわり畑が楽しめますか？
A 恒例のリリーフェスタの頃に咲いて、多くの方に見て頂きたい。月館町の住人に代わって、大きく咲いたひまわり、4700本が、花を楽しむに訪れる方を、笑顔でお迎えできたらいいですね。

Q さて、今後の活動は？
A 桜の木の手入れ、あとは別に決まっています。行事に追われず、思いついた時に活動してゆक्तつもりです。私たちと夢を楽しむ方、お待ちしています。

●つきだて夢楽校の問合せ先は
024(572)2964
高野様まで

歩風の散歩道 女神山

花工房を見守るようにそびえる女神山は標高599m。東京都にお住まいの桃澤さんは、毎年、福島山を歩く楽しみに、つきだて花工房を訪ねて下さいます。



桃澤さんとお仲間のみなさん

《落ち葉の絨毯の道をさくさくと登り、小手姫を祀つてある祠を通過すると、あつと言う間に山頂である。立派な等三角点が立つて居り、三六〇度の眺望が素晴らしい。西には頭を雪を被った吾妻連峰が、南から東には眼下に赤い屋根を中心とした山里の景色が広がっており素晴らしい。霊山の方向に目を移すと昨夜ゆつくりとくつろいで、楽しいひとときを過ごした宿・花工房が陽に映えて見えるではないか。『おい、花工房が見えるぞ』『どこどこ』と皆で歓声を上げた。》

（文）桃澤米治様 東京都

ムーンセラピー はなこつぽう 香りの教室

植物精油の香りで心と体を癒す、アロマテラピーの入門コース。マッサージオイルを作ります。

受講料1,500円（ハーブティー付）
時間 午後2時から
第1回 7月17日（月）
ラベンダー

第2回 9月4日（月）
ローズマリー

15名が定員となりますので、お早目にお電話でご予約下さい。

香りの花束プレゼント

7月にご宿泊いただくお客様で、宿泊当日、お誕生日の方に、スタッフが花工房ガーデンから収穫した、ハーブで作るタッジー・マッジーをプレゼント。フロントに、お誕生日が確認できるものを提示ください。（天候によりプレゼントが変わる場合もあります。）

※タッジー・マッジーとは、災難から身を守り幸せを招くといわれる香りの花束です。

ムーンセラピー 月の明りで疲れた心を癒したい。

いますぐカレンダーにチェック!!
[新月の夜] 6月17日（土）
[満月の夜] 7月2日（日）
7月16日（日）
7月31日（月）
8月15日（火）
8月29日（火）

INFORMATION インフォメーション

●つきだて花工房、休館日の変更について
8月14日（月）・15日（火）は通常通りの営業。22日から24日まで臨時休館となります。詳しくはお電話でお問合せください。

●リリーフェスタの開催
7月22日・23日の2日間。

●つきだて夢見の郷宅地分譲中！
坪単価3万8千円、
お問い合わせ 役場企画課

TEL 024(572)2111



こぼれ種で花の咲いたピオラ。花工房玄関先のアスファルトから。

編集後記

寝ても覚めても、編集の事が頭から離れず、原稿の締め切り間際に家族の入院。ギブアップ寸前。試験の時！と言いつつ、せながら、どうにか発行に漕ぎ着けました。創刊号発行は、取材や原稿協力を快く引受けてくれた皆様と、花工房の仲間、のいたわりの言葉があつてこそと、心から感謝しています。これからも、「人と人のつながり」が、木もれ日通信を支えてくれるものと思います。アスファルトに咲いた小さな命からも、大きな勇気をもらいました。花セラピーかな？（佳代）